

むさしのコア投資ファンド(安定型/成長型) [愛称:むさしのラップ・ファンド(安定型/成長型)]

ポートフォリオの見直しについて

今般「むさしのコア投資ファンド(安定型/成長型) [愛称:むさしのラップ・ファンド(安定型/成長型)]」(以下、当ファンド)は、市場環境やパフォーマンス状況などを踏まえ、目標資産配分比率を見直し、併せて投資対象ファンドの追加および除外を含む各資産内の目標配分比率の変更を行いました。

ポートフォリオの見直しの背景と概要

- 足元では世界経済の減速が意識されているものの、景気後退までには至らず、インフレ沈静化後は緩やかな成長軌道へ回帰する展開をメインシナリオとしています。
- インフレはピークアウト後、沈静化するまでは相応に時間を要する見込みであり、欧米の金融引き締めは想定以上に長期化しています。一方、金融政策の不確実性は徐々に低下し、株式、債券、為替などの市場の変動性(ボラティリティ)も落ち着きつつあります。
- 今回こうした市場環境を踏まえ、為替が円安基調から、急激に円高となる可能性は低いと判断し、外貨建資産の配分比率の引き上げを軸に見直しを実施しました。具体的には、先進国株式、新興国株式、先進国債券および海外リート配分比率を引き上げる一方、国内債券、国内リート、コモディティおよびヘッジファンドの配分比率を引き下げました。
- 国内債券資産は、日銀の金融政策への思惑や国内物価の上昇に伴い、これまでよりも市場の変動性が高まっており、各ファンドのリターン差も大きくなっています。係る状況下において、パフォーマンスが軟調となっていた「FOFs用日本債券ツイン戦略ファンドS(適格機関投資家専用)」の組み入れを除外し、同資産内で相対的に配分比率が低く、組み入れ以来のパフォーマンスが安定している「ニッセイ国内債券アクティブプラス(FOFs用)(適格機関投資家専用)」、「SMDAM日本債券ファンド(適格機関投資家専用)」の配分比率を引き上げました。
- ヘッジファンド資産では、投資環境にかかわらず着実に収益獲得が期待できるポートフォリオ構築を企図し、既存組入ファンドとは特性の異なる投資手法のファンドを新たに組み入れ、配分比率の見直しを実施しました。

◆目標資産配分比率の見直しを行った資産(2023年10月11日現在)

		むさしのコア投資ファンド (安定型)		むさしのコア投資ファンド (成長型)	
		変更前	変更後	変更前	変更後
株式	先進国株式	8.6%	↑ 10.5%	13.3%	↑ 15.2%
	新興国株式	0.5%	↑ 0.6%	0.7%	↑ 0.8%
債券	国内債券	33.1%	↓ 30.0%	18.3%	↓ 14.0%
	先進国債券	3.0%	↑ 13.0%	10.0%	↑ 20.0%
オルタナティブ	国内リート	7.0%	↓ 5.0%	7.0%	↓ 5.0%
	海外リート	2.0%	↑ 3.0%	4.0%	↑ 5.0%
	コモディティ	9.0%	↓ 7.0%	9.0%	↓ 7.0%
	ヘッジファンド	24.9%	↓ 19.0%	20.7%	↓ 16.0%

※端数処理の関係で増減の数値が合わない場合があります。

※先進国株式には、一部を新興国株式に投資するファンドも含まれます。

※先進国債券には、一部を新興国債券に投資するファンドが含まれます。

※目標資産配分比率は2023年10月11日現在のものであり、適宜見直しを行います。また、実際の組入比率とは異なる場合があります。

◆目標配分比率の見直しを行った投資対象ファンド(2023年10月11日現在)

	ファンド名	むさしのコア投資ファンド (安定型)		むさしのコア投資ファンド (成長型)	
		変更前	変更後	変更前	変更後
先進国 株式	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
	グローバル株式コンセントレイト・ファンド (適格機関投資家専用)	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
	Capital Group New Economy Fund(LUX) Class ZL	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
	ブランディワイン・グローバル株式ファンド (適格機関投資家専用)	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
	FOFs用外国株式ESGリーダーズ・インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	0.5%	↑ 0.6%	0.7%	↑ 0.8%
	ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド (FOFs用)(適格機関投資家専用)	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
	世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)	1.4%	↑ 1.7%	2.1%	↑ 2.4%
新興国 株式	FOFs用新興国株式インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	0.5%	↑ 0.6%	0.7%	↑ 0.8%
国内 債券	FOFs用日本債券ツイン戦略ファンドS (適格機関投資家専用)	8.3%	↓ -	4.6%	↓ -
	マニユライフFOFs用日本債券ストラテジックファンド (適格機関投資家専用)	9.9%	↓ 9.0%	5.5%	↓ 4.2%
	明治安田FOFs用日本債券アクティブ戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8.3%	↓ 7.5%	4.6%	↓ 3.5%
	ニッセイ国内債券アクティブプラス(FOFs用) (適格機関投資家専用)	3.3%	↑ 6.0%	1.8%	↑ 2.8%
	SMDAM日本債券ファンド(適格機関投資家専用)	3.3%	↑ 7.5%	1.8%	↑ 3.5%
先進国 債券	ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)	0.8%	↑ 3.3%	2.5%	↑ 5.0%
	フィデリティ外国債券アクティブ・セレクト・ファンド (適格機関投資家専用)	0.8%	↑ 3.3%	2.5%	↑ 5.0%
	FOFs用世界債券総合インデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	1.5%	↑ 6.5%	5.0%	↑ 10.0%
国内 リート	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	7.0%	↓ 5.0%	7.0%	↓ 5.0%
海外 リート	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS (適格機関投資家専用)	2.0%	↑ 3.0%	4.0%	↑ 5.0%
コモディ ティ	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)	7.0%	↓ 5.0%	7.0%	↓ 5.0%
ヘッジ ファンド	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund ークラスS-JPY	2.5%	↓ 1.9%	2.1%	↓ 1.6%
	FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS (適格機関投資家専用)	4.0%	↓ 1.9%	3.3%	↓ 1.6%
	FOFs用米国株式LSファンドS(適格機関投資家専用)	3.7%	↓ 2.9%	3.1%	↓ 2.4%
	FOFs用コモディティLSアルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	4.2%	↓ 3.2%	3.5%	↓ 2.7%
	FOFs用米国株式イントラデイ・トレンド戦略ファンドS (適格機関投資家専用)	1.2%	↓ 1.0%	1.0%	↓ 0.8%
	ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド (適格機関投資家専用)	4.2%	↓ 1.9%	3.5%	↓ 1.6%
	ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.5%	↓ 1.9%	2.1%	↓ 1.6%
	MA Hedge Fund Strategies Limited	2.5%	↓ 1.9%	2.1%	↓ 1.6%
	FOFs用 GBCAファンドS(ミドルリスク型) (適格機関投資家専用)	-	↑ 2.5%	-	↑ 2.1%

※端数処理の関係で増減の数値が合わない場合があります。
 ※先進国株式には、一部を新興国株式に投資するファンドも含まれます。
 ※先進国債券には、一部を新興国債券に投資するファンドが含まれます。
 ※目標資産配分比率は2023年10月11日現在のものであり、適宜見直しを行います。また、実際の組入比率とは異なる場合があります。

主として日本の円建短期公社債などに投資するとともに、先進国の債券先物取引および世界主要通貨の為替予約取引を行うことで安定した収益の獲得を目指し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色など

着眼点の異なる2つの戦略を活用

- GBCA(Global Bond Currency Allocation)戦略の概要は、投資対象を流動性の高い先進国の国債先物と通貨に限定し、シンプルなルールに基づいて定量的に投資判断を行い、着眼点の異なる2つの戦略(キャリー戦略とディレクショナル戦略)*を組み合わせること。
- 各国間の金利格差と金利・通貨の方向性に着目し、市場変動の影響を抑制しつつ、安定したリターンの獲得を目指す。

運用会社：三井住友トラスト・アセットマネジメント

* キャリー戦略：市場の状態（例えば金利水準など）に変化がないという前提で投資対象を保有することで、インカムや価格上昇などの収益を狙う戦略。
ディレクショナル戦略：主に市場動向の方向性を予測して収益を狙う戦略。

(出所) 三井住友トラスト・アセットマネジメントのデータを基にちばぎんアセットマネジメント作成

基準価額の推移

(2023年4月5日(設定日)～2023年9月末、日次)



※資金動向、市況動向、信託財産の規模等によっては、上記の運用ができない場合があります。

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

◆変更後の目標資産配分比率および投資対象ファンドの目標配分比率(2023年10月11日現在)

資産名	目標資産配分比率		投資対象ファンド	配分比率	
	安定型	成長型		安定型	成長型
国内株式	12.0%	17.0%	FOFs用国内株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	6.6%	9.4%
			国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)	1.2%	1.7%
			日本長期成長株集中投資ファンド(適格機関投資家専用)	1.8%	2.6%
			FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用)	1.8%	2.6%
			FOFs用日本株式ESGセレクト・リーダーズ・インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	0.6%	0.9%
先進国株式	10.5%	15.2%	FOFs用外国株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	1.7%	2.4%
			グローバル株式コンセントレイト・ファンド(適格機関投資家専用)	1.7%	2.4%
			Capital Group New Economy Fund(LUX) Class ZL	1.7%	2.4%
			ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	1.7%	2.4%
			FOFs用外国株式ESGリーダーズ・インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	0.6%	0.8%
			ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	1.7%	2.4%
世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)	1.7%	2.4%			
新興国株式	0.6%	0.8%	FOFs用新興国株式インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	0.6%	0.8%
国内債券	30.0%	14.0%	マニユライフFOFs用日本債券ストラテジックファンド(適格機関投資家専用)	9.0%	4.2%
			明治安田FOFs用日本債券アクティブ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	7.5%	3.5%
			ニッセイ国内債券アクティブプラス(FOFs用)(適格機関投資家専用)	6.0%	2.8%
			SMDAM日本債券ファンド(適格機関投資家専用)	7.5%	3.5%
先進国債券	13.0%	20.0%	フィデリティ外国債券アクティブ・セレクト・ファンド(適格機関投資家専用)	3.3%	5.0%
			ウエスタン・グローバル債券ファンド(適格機関投資家専用)	3.3%	5.0%
			FOFs用世界債券総合インデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	6.5%	10.0%
国内リート	5.0%	5.0%	FOFs用J-REITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	5.0%	5.0%
海外リート	3.0%	5.0%	FOFs用グローバルREITインデックス・ファンドS(適格機関投資家専用)	3.0%	5.0%
コモディティ	7.0%	7.0%	FOFs用グローバル・コモディティ(米ドル建て)・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	2.0%
			FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	5.0%	5.0%
ヘッジ ファンド	19.0%	16.0%	BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond FundークラスS-JPY	1.9%	1.6%
			FOFs用ピクテ マルチストラテジー リンクファンドS(適格機関投資家専用)	1.9%	1.6%
			FOFs用米国株式LSファンドS(適格機関投資家専用)	2.9%	2.4%
			FOFs用コモディティLSアルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	3.2%	2.7%
			FOFs用米国株式イントラデイ・トレンド戦略ファンドS(適格機関投資家専用)	1.0%	0.8%
			ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	1.9%	1.6%
			ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	1.9%	1.6%
			MA Hedge Fund Strategies Limited	1.9%	1.6%
FOFs用 GBCAファンドS(ミドルリスク型)(適格機関投資家専用)	2.5%	2.1%			

※端数処理の関係で増減の数値が合わない場合があります。

※先進国株式には、一部を新興国株式に投資するファンドも含まれます。

※先進国債券には、一部を新興国債券に投資するファンドが含まれます。

※目標資産配分比率は2023年10月11日現在のものであり、適宜見直しを行います。また、実際の組入比率とは異なる場合があります。

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、商品(コモディティ)の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、資産等の選定・配分に係るリスク、ヘッジファンドの運用手法に係るリスク、仕組み債券に係るリスク、ブローカーの信用リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

【その他の留意点】

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

●ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

●ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	無期限(2016年9月30日設定)
決算日	毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ※分配金再投資コースの場合は、税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
購入単位	販売会社が定める単位とします。(「分配金再投資コース」を選択された受益権の収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。)詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。(休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。) ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

▼お客様が直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%)を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
【換金時】 信託財産留保額	ありません。

▼お客様が間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.58209%~1.89790%程度(税抜1.43827%~1.74472%程度) 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用(年率 1.386%(税抜1.26%))に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用(年率 0.19609%~0.51190%程度(税抜0.17827%~0.48472%程度))を加えた、お客様が実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況等により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬がかかる場合があります。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの売りに伴う信託財産留保額等はその都度、監査費用、ファンドが実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等は日々、ファンドが負担します(投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。)。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料のお取り扱いについては最終ページをご覧ください。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社：ちばぎんアセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第443号
 加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
 ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/
- 受託会社：三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社：当ファンドの販売会社については【販売会社一覧】をご覧ください。[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

販売会社一覧

商号等	登録金融機関	登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			

【ご留意事項】

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。